

ホワイエ *Foyer* イエ

New Union of Architects & Engineers

Tokyo 633

2025. 1



2025年1月1日（毎月発行）定価200円 通巻633号第55巻第1号発行/新建築家技術者集団東京支部
発行人/杉山昇 〒162-0811 東京都新宿区水道町2-8 長島ビル2F tel.03-3260-9810 fax.03-3260-9810
ホームページ <https://tokyo.nu-ae.com/> E-mail shinken-tokyo@group.email.ne.jp

- 03 年賀広告
- 05 第33回全国研究集会 in 奈良 山下千佳
- 08 第33回全国研究集会 in 奈良 丸山豊
- 10 2024 研究集会@奈良 感想 さとうみき
- 11 imaginepeace 音楽のつどい 山下千佳
- 12 第50回「地球温暖化について考える」 渡辺政利
- 13 神奈川支部の忘年会に参加 川田綾子
- 14 アジアンニュース No.24 T N

今月の表紙 提供：柳澤泰博

全国研究集会 in 奈良に参加しました。
 宿泊先「亀の井ホテル」屋上から12月1日の日の出。会場になった奈良女子大学キャンパスの中央にある記念館：明治42年竣工（重要文化財）。奈良女子大学に隣接している、1928年に建設された「鍋屋の交番」（登録文化財）現在は住民の保存活動が実り2012年7月から「旧鍋屋交番きたまち案内所」として活用されています。

Event Information

◎は新建主催行事 ◆は会員及び交流団体の行事

東京支部 下記の住所：新宿区山吹町 361 番地 誠志堂ビル 3F **事務所移転しました**

- ◎01/07 火 18:00 常任幹事会 @かたちづくり研究所
- ◎01/14 火 18:00 常任幹事会 @かたちづくり研究所
- ◎01/28 火 18:30 幹事会 @かたちづくり研究所
- ◎02/16 日 13:30 東京支部総会 @新・新建事務所



2025 総会に出参しよう!!
 2月16日(日) 13時30分~17時
 新宿東京支部 新・事務所
 新宿区山吹町361番地 誠志堂ビル3F
 東京メトロ有楽町線「江戸川橋」駅 1b出口より徒歩4分
 総会議案は1/28第3回幹事会後にメールで配信します。

全国

- ◎01/16 木 13:30 阪急電鉄「六甲駅」集合 阪神・淡路大震災 30年の集い 復興支援会議
- ◎04/19 土 全国幹事会

会員及び交流団体 詳細は () に記載された会員へお問い合わせください。

- ◆01/09 木 18:30 一木会「水素のおはなし」 ゲスト：田村新（杉山）
- ◆01/11 土 13:00 能登半島地震の一年を検証 ～復旧の遅れと豪雨によるさらなる被災～
@石川県女性センター+ZOOM
- ◆01/17 金 05:30 阪神・淡路大震災 30年早朝追悼のつどい @神戸市・諏訪山ビーナスブリッジ
- ◆01/17 金 13:00 阪神・淡路大震災 30年メモリアル集会
災害被害者のくらし再建・人間復興へ 住み続ける権利と人権
@新長田ピレホール 主催：兵庫復興県民会議・全国災対連
- ◆01/23 木 18:30 ～阪神・淡路大震災 30年、能登半島1年から何を学ぶか～
一災害と法制度－法の役割と新たな視点から考え直す－
@東京労働会館 7F ラパスホール+ZOOM 主催：東京災対連
- ◆01/23 木 19:00 機器を使わない熱のバッテリー「蓄熱」（金田）@市ヶ谷 DNP プラザ
- ◆01/26 日 13:30 住み続けられる能登復興をめざす被災地支援 新春コンサート
@中島地区コミュニティセンター多目的ホール
- ◆02/06 木 18:30 一木会「地球温暖化を考える」 ゲスト：渡辺政利（杉山）
- ◆02/下旬 土 14:00～ (仮) 原発の危険性 講師：乾康代（柳澤・杉山） 会場未定



各地でのイベントや行事情報、ホワイエの原稿も随時募集しています。

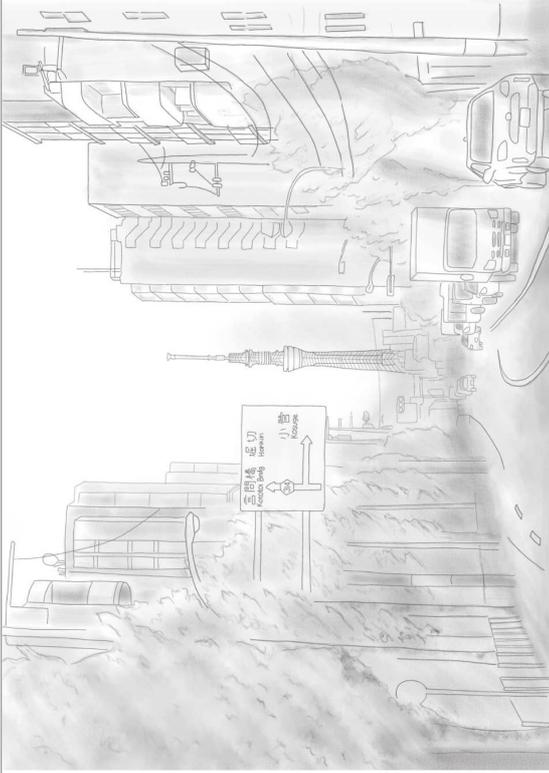
下記アドレスまで原稿をお寄せください！ foyer@shinken-tokyo.orgp.emai.ne.jp

【訃報】若山徹さんが12月16日に77歳で逝去されました。東京問題研究会を中心に特に神宮外苑再開問題では精力的に活動され、亡くなられる直前まで発信をされていました。若山さんの活動と想いを受け継げるようにしたいと思います。

新年おめでとうございます

新建築家技術者集団東京支部

2025
新春



設計

象地域社
一級建築士事務所
株式会社

TEL: 03 (3601) 6841 E-mail: zo-3@jade.dti.ne.jp URL: www.zo-3.info
〒124-0001 東京都葛飾区小菅4-22-15
未来 一八 陽
佐藤 佐藤 安達 安達 長谷川 長谷川
壽詞 毅 彩香
松富 高橋 辻
和彦 代
佐伯 木村美千代 武市望奈代
智洋 豊 大樹
葉林 澤田

株式会社
まちづくり研究所
〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿1-13-6
代表取締役 野口 哲夫
丸山 豊 東 研司 小金山 光男
川田 綾子 永井 崇 齊藤 七重
飯田 紗季 高原 佐紀子
井澤 和貴 小林 朝子
Tel: 03-5423-3470
Fax: 03-5423-3479
Mail: machiken@ap.wakwak.com
H P: machiken-web.jimdo.com



迎春 2025 「暮らしと住まい総合研究所」
阪神・淡路大震災から30年、その年に執筆した「地震・火災に強い家の建て方・見分け方」はベストセラーになりました。今でも役立つ内容ですが、さらに経験や知識を加えて発信したいと思います。
また「暮らしと住まい総合研究所」を開設しました。第3火曜日に研究フォーラムを開催しています。

● NPO 法人 **設計協同フォーラム**

2025
謹賀新年
片柳順平

中野ブロードウェイをめぐる 早春まち歩き
総会後の3月ごろに 東京問題研究会による
変わりゆく街並み・建築の見学会として計画しています。
詳細は、東京支部総会のごりまでにお知らせします。
ことしもしょろしくお願ひします。
石原 重治

ことしもよろしくおねがいします

2025.1.1



いろんな事に取り組んでいます。

- *まちづくり専門家登録 東京都 防災・建築まちづくりセンター
- *NPO コーポラティブハウス全国推進協議会 理事
- *NPO リ・らいふ研究会 理事
- *パークタウン東横瀬自治会 事務局長
- *東京23区公団住宅自治会協議会 副会長
- *全国公団住宅自治会協議会 幹事
- *綾瀬まちづくり協議会 会員
- *葛飾区マンション管理適正化推進計画策定委員

象地域設計
江國 智洋

謹賀新年



平和憲法を
世界に

武力でなく
外交・対話の努力を

高田 桂子



2025 あけましておめでとうございます
アジアニュースのご愛読
ありがとうございます T.N



共同の力を紡ぎだし
高齢者から子どもまで
住み続けられる地域再生・継続の
まちづくりを目指します

あけまして おめでとうございます

まちづくり研究所 富山事務所 丸山 豊
富山県射水市放生津町 22-9
JDP07511@nifty.ne.jp

あけましておめでとうございます



2025

今年もよろしくお願いたします

馬越 まゆみ

迎春
2025

今年のモットー

「集まること」から始めよう！
丁寧に絶え間なく「発信」しよう！
大いに「遊び」「学び」……
しっかり「良い仕事」をする！
身体も心も「健康」でHappy



住まいとまちづくりコープ

千代崎一夫/山下千佳

〒174-0072 板橋区南常盤台 1-38-11-1F

TEL 03-5986-1630 FAX 03-5986-1629



迎春

株式会社MS Architects

本間 充一

東京都台東区東上野3-2-6 石田ビル4階

tel.03-5846-8155 fax.03-5846-8165

mail.info@ms-architects.jp

www.ms-architects.jp

謹賀新年

SOKEN

ARCHITECTURAL RESOURCE GROUP

五十嵐 一博

一級建築士事務所 株式会社 綜建築研究所

東京都葛飾区堀切2-26-12 ビラビアンカ10-1F 03-5875-6180

第 33 回全国研究集会 in 奈良

山下千佳

11月30日～12月2日 奈良女子大学で開催されました。天候に恵まれ、紅葉が最高でした。参加者は全体で88名、東京支部からは、石原重治・江國智洋・岡田昭人・木村美千代・佐伯和彦・佐藤未来・杉山昇・高田桂子・武市望奈代・竹山清明・千代崎一夫・丸山豊・柳澤泰博・山下千佳・東京関係では北澤莉多さん 15名の参加でした。分科会の担当者になるなど、奮闘しました。

11月30日(土)：記念講演

(共催：鍋屋連絡所の保存活用と”奈良きたまち”のまちづくりを考える会)

14:00 開会・ガイダンス

14:30 記念講演① 「奈良の町並み」講師：上野邦一(奈良女子大学名誉教授)

16:00 記念講演② 「奈良きたまちと“なべかつ”の話」

～会員・「駐在さん」110名の取組み～ 講師：瀬渡比呂志(なべかつ事務局長)

19:00 夕食・交流会 亀の井ホテル奈良



12月1日(日)：分科会

09:00 分科会・午前

13:30 分科会・午後

17:00 全体会

19:00 夕食・交流会 亀の井ホテル奈良



12月2日(月)：見学会

① 御所町ウォッチング

② 奈良きたまちめぐり

③ 奈良町家めぐり

④ つなねコーポ見学会(住戸内見学あり)

分科会

分科会	東京支部の担当
第1分科会	すまいづくり 岡田・杉山
第2分科会	施設づくり 佐藤・木村
第3分科会	まちづくり 江国・丸山
第4分科会	環境 高田・柳澤
第5分科会	防災・災害復興 山下
第6分科会	職能・仕事づくり
第7分科会	マンション・団地 佐伯・千代崎



「防災・災害復興」岡田知弘さんの講演後に意見交換



参加者の内訳 88名

北海道1 宮城1 茨城1 群馬1 埼玉1 千葉2 東京14 神奈川2 新潟1 富山3
福井1 岐阜1 静岡1 愛知1 京都18 大阪9 奈良10 岡山1 福岡3 会員外16

奈良の旅 フォトアルバム



近畿日本鉄道「新大宮」のホーム



東京には無いホームのベンチ



近鉄「奈良駅」から奈良女子大へ



南都銀行本店 1926年(大正15年)4月、奈良郵便電信局跡地に旧六十八銀行の奈良支店として竣工



法相宗大本山「興福寺」／五重塔は保存修理中



早速、鹿のお出迎え



「奈良公園」でのんびり過ごす鹿／道路には鹿注意 ♡



「旧鍋屋交番 きたまち案内所」
鍋屋連絡所の保存、活用と奈良きたまちのまちづくりを考える会(愛称:なべかつ)



奈良女子大学 正門

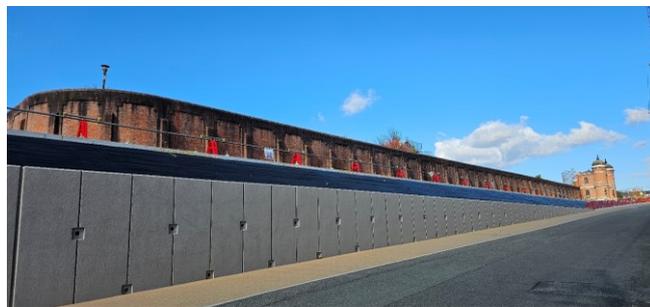
記念館

記念館は 1908 年（明治 41 年）2 月に着工、翌年 10 月に竣工し、奈良女子高等師範学校本館として、創設当初から一階は事務室、二階は講堂として利用されていました。1994 年（平成 6 年）改修工事、同年 12 月に守衛室とともに国の重要文化財に指定。

11/30 12:30~14:00 限定で奈良女子大学の瀬渡章子先生（奈良支部）に案内していただきました。



奈良きたまち巡り



少年刑務所 ロマネスク調様式の表門（正門）

旧奈良監獄は監獄施設の近代化を目指して、1908 年（明治 41 年）に誕生した。日本最古の刑務所で 100 年以上に渡りその役割を全うした旧奈良監獄は、その歴史的価値から重要文化財として指定を受け、2026 年にホテルや監獄史料館を運営する予定。

紅葉が最高の時期でした→

11 月 29 日に大阪を満喫して、翌日より奈良で開催された「研究集会」に参加しました。たくさん歩いて、学んで、全国の新建の仲間のみなさんと交流ができた、楽しい充実した時間でした。大阪の報告は後日したいです。

第33回全国研究集会 in 奈良

まちづくり研究所 丸山 豊

11月30日(土)～12月2日(月)に奈良女子大を会場に開催された全国研究集会 in 奈良に参加してきました。

◆初日：記念講演

初日の記念公演は、奈良女子大名誉教授・上野邦一さんによる「奈良の町並み」の話と、なべかつ事務局長・瀬渡比呂志さんによる「奈良きたまちと“なべかつ”の話」の二題。

上野さんのお話：その土地その土地で安易に入手できる材料で建てられてきた民家の特徴のお話が印象に残りました。

瀬渡さんのお話：江戸時代からの奈良町の区域でありながら、大宮通り南側の“ならまち”に比して取り組みが遅れていた“きたまち”。2005年に閉鎖された交番建物“鍋屋連絡所”の保存・活用と“奈良きたまち”のまちづくりを考える会「なべかつ」を2009年に設立して、2012年に市と協定を結び、奈良きたまちの案内拠点として活用してきた経緯と特徴を情熱いっぱいにお伺いしました。

◆二日目：分科会

二日目の日中は、まちづくり分科会に参加しました。今回のまちづくり分科会は、午前は「大規模再開発に抗う住民運動」、午後は「縮小社会の中での持続可能なまちづくり」をテーマに、各地の取り組みの報告と意見交換が行われました。

午前の報告 は以下の5題。①神宮外苑再開発(東京)、②民間開発の地ならし牧方市駅前開発(大阪)、③官製まちこわし・ホテル建設とマンション建設(京都)、④本末が転倒した公園PFI(大阪)。

京都からの報告では、本来ホテルを建設できない地域に京都市自らホテルを誘致する「上質宿泊施設誘致制度」が運用され、バブル期のよ

うな大規模建築物ではないものの、交通上の問題や景観上の問題が大きいとのこと。また、簡保やお寺所有の大規模跡地への大規模マンション建設による眺望や日照の問題も報告され、活発な意見交換が行われました。

低利用となっている公園の有効な活用手法として注目されてきた公園PFI事業が、公園での営業活動のための手法となって来ていることも報告されました。

バブル期の地上げによる再開発や野放図なリゾート開発が崩壊した後、儲けの場を模索してきた資本は、人口減少社会を背景にしたコンパクトシティ論に活路を見出し、その拠点整備を名目とした過大なボリュームの駅前再開発や、歴史的地域資源の「活用」に集中投資を行っている。人口減少社会への対応を、持続可能な日常生活圏の再成として行うのか、利益追求の場として利用するのかが問われている。

午後の報告 は以下の6題。①神戸市の超高層規制(兵庫)、②地方小都市の中心市街地での取り組み(甲賀市・気仙沼市)、③共生型コミュニティ那須まちづくり広場(栃木)、④人口増を続けるシニアタウン美奈宜の杜(福岡)、⑤滑川宿の保存活用(富山)、⑥市民による思考行動体系(富山)。

神戸市の中心市街地における超高層規制について、一定評価をしながらも、居住の視点が抜けていることが指摘され、居住を前提としたヨーロッパ諸国の中心市街地の事例を紹介していただきました。

地方小都市である甲賀市(人口約9万)と気仙沼市(人口約6万)の中心市街地が抱える課題とその解決に向けた取り組みが、ビジョン策定に関わってきた立場から報告され、中心市街地のため「だけでない」まちなか再生の視点が語られました。(建まち誌546号2411参照)

廃校となった小学校校舎と校庭を活用して共生型コミュニティを目指す「那須まちづくり広場」について、その実践に寄り添ってきた設

計者の立場から報告がありました。参加者から、地域と分離された高齢者のみのコミュニティになっているのではないかと指摘が出ていましたが、長年地域コミュニティの中心であった小学校を活用していることから、周辺地域との関係性を意識した事業になっているのではと推測しますが、今回はそのあたりのお話もお聞きしたいと思いました。

1996年に福岡県朝倉市の郊外に街開きをしたシニアタウンが、高齢化による入居世帯の入れ替えや新規街区への子育て世帯の受け入れを伴いながら、人口増加を続けている事例が報告されました。交通・買物・医療という生活インフラが整備されていない中、持続的なまち、多世代型住民構成に移行するには、住み替えサポートや一人暮らし高齢者向けグループリビング／シェアハウスなどの整備が望まれているとの考察がありました。

北陸街道の宿場町滑川宿（富山県）において2010年より本格化している保存・活用運動の現在地が報告されました。何度か報告をいただいている取り組みですが、取り組みが発展し、若い世代の参加も増えている様子が語られました。お話をお聞きしていて、初期の運動メンバーから若い世帯へのバドンたちもあり得そうに思いました。最近訪れていませんが、また訪れたいと思います。

長い間続いているまちづくり分科会。私にとっては学生時代からの大切な学びと交流の場です。自ら実践を続けながら、今後も参加していきたいと思います。

◆二日目夜：御所宝湯

二日目の夜は、片道一時間ちょいかけて、翌日の見学会コースに組み込まれていた御所町にある銭湯「御所宝湯」に行ってきました。2008年に営業をやめていた銭湯を改装して2022年に改めて開業した銭湯で、GOSE SEOTO HOTELを展開するまちづくり拠点の一つです。とっても気持ち良く、エネルギ

ーをもらえるお風呂でワクワクしました。周辺の御所まちは、奈良県で4カ所目の重伝建を目指しているそうです。また訪れたいと思います。



◆最終日：見学会

最終日は、「つなねコープ」の見学会に参加しました。2000年に竣工したコーポラティブ住宅ですが、設計上の工夫もあり、まったく古さを感じることなく、時がなじみを作り出しています。住棟内の集会所で、設計者である伴さんや入居者の方から改めてお話をお伺いし、住戸の中も見学させていただきました。空前絶後のプロジェクトであるとの伴さんの言葉が、大げさでなく感じられました。伴さん、ありがとうございました。



「 2024 新建研究集会@奈良 感想 」

さとうみき 象地域設計

ヒントを求めて

午前中は、職能・仕事づくりの分科会に出ました。ガツンとくるような、何かヒントになるようなものを求めていたからです。

↓こんな話題がありました。↓

施主の話をよく聞くのは、良いものを創るため。施主の安く建てたいという要望に応じて、施主と一緒にやって、一緒に喜ぶ。

施主に儲けさせることができれば、芋づる式に仕事が続く、これぞ芋づる施主。

良いものと安いものは一致するしね。

何十年も設計監理の仕事をしてきて、最近初めて監理費を支払いたくないと言われた、とベテラン設計者さんの発言。もちろん前もって説明していたのに、わからないと言われてしまい、難儀した。

合見積りは受けないことにしている、と言い切る施工者さん。

とても良い施主からの紹介であっても、この人とは良い関係ができないなと思えば、お受けできません、としっかり断っている。

メールのやり取りを数回やれば、ああ、この人とはやらない方が良くと予測できる。

建築をかじっている、知ってる風の方は、要注意。

社会とのつながりの中で建築をとらえる、これを掲げている集まりは、新建だけだろう。

研究集会にきて、報告を聞き、話しをすると新建の人たちは、まさにそれをやっていると改めて認識できる。

story 性を持たせる、つながる、おせっかいする、ファンをつくる、、、その中で仕事すると広がる。

施主の話を聞くこと。その土地を読むこと。そしてもう一つ、issue が大事。

issue とは自分自身が意図をもって取り組むこと。度胸だけで仕事をしてきた感の時代もある。

けれど、その時代ごとに自分自身の issue があり、時間を経て発展してきた。

仕事は連続性。

さまざまな依頼に応え設計行為をしながら、それらを貫く issue があつたと、80 歳を前に、今なら言える。(issue : 問題、議題、課題)

(にわか調べによると、issue が中立的な議題や懸念事項を指すのに対して problem は否定的な意味合いを持つ問題や困難を指すそうです。)

お昼ご飯中も続きを話し、充実した時間でした。飛ぶように過ぎる毎日ですが、熟考を心掛け、応えていきたいと思いました。

まさに、issue してる！？

午後は、生活と福祉の分科会へ。

みなさんの発表は、聞いていてとても気持ちの良いものでした。施主やそこで生活する人々（子どもも大人も）の想いに共感して、設計や研究に取り組んでいるということが伝わってきました。

自分自身の興味、心動くものに真摯に向き合っている、意図をもっておもしろいことをやっていると感充滿していました。

その後見た映像に染色家・柚木沙弥郎さんの

「ワクワクして生きることがいちばん！

自分のワクワク見つけなくちゃ」

との言葉があり、自分の中で重なっています。



奈良で見る紅葉は鮮やかに見えました。

「Imaginepeace 音楽のつどい」

山下千佳

12月14日(土) 今年で6回目となる「Imaginepeace 音楽のつどい」を板橋区立グリーンホール2階で開催しました。26組39の方が出演して「平和のメッセージ」を表現しました。

おなじみのメンバーの方も、初出演の方も複数いらして、「ヴァイオリン」「ガリンバ」「ワンマンバンド」「落語」など新しい演目がありました。また、出演だけでなく運営も一緒にやってもらえるメンバーも加わり、うれしかったです。

広島・長崎の被爆者による草の根運動である日本被団協が、核兵器のない世界の実現に向けた努力、核兵器が二度と使われてはならないことを、身をもって立証してきた功績により、2024年のノーベル平和賞を受賞しました。ノルウェーのオスロで12月10日に開かれた授賞式には、広島や長崎の被爆者のほか、在ノルウェーの各国大使ら約1500人が出席し、日本被団協を代表して92歳の田中熙巳さんが講演をおこない、「核兵器も戦争もない世界の実現」を訴えに、賞賛の拍手が会場にあふれていたと報道されました。

『戦争はやめよう！ 憲法を守ろう！ 民主主義を暮らしに生かそう！』“平和”を心で願っているだけでなく、何かの形で意思を表明しよう、「安全で安心な住まいとまちづくり」を願う方たちやグループがネットワークを広げる場として、継続することがエネルギーにもなっていると思います。

新建からは、東京支部の小金山光男さん(落語)、村上久美子さん(三線)、千代崎一夫さん(ギター)、小出裕久さん(沖縄平和ツアーの写真提供)、山下千佳(フルート)、大阪支部の山口達也さん(ギター・ベースギター)で出演しました。山口さんの生徒さんのヴァイオリンはプロ並みでした。生徒さんも聴きにきてくださって良かったです。



司会は千代崎さん



小出さんが沖縄の写真を提供
「平和の琉歌」をフルートで演奏



山口さんと生徒さん
「情熱大陸」「カントリーロード」など



才葉亭きん小さんの落語「初天神」 村上さんの三線と歌



千代崎さんと仲間たち「シスターズ・オー・シスターズ」歌にも挑戦



写真と動画(3時間)をホームページにアップしました。
<https://sumaimachi.net/relay/2024imagin/>



第 50 回 「地球温暖化について考える」

渡辺政利

COP29

気候変動に関する国際的協定は「パリ協定」と呼ばれます。2015年12月パリで開催された第21回「気候変動枠組み条約締約国会議」（略称 COP21）で採択された協定内容を指すもので「今世紀後半までに世界の気温上昇を産業革命前に比べて2度より低く保ち1.5度に抑える努力をする」となっています。これに対して2021年10月～11月12日にイギリスのグラスゴーで開催された COP26 では「2度より低く保ち」を除いて「1.5度を目標とする」ことを明記し、各国には世界の気温上昇を1.5度に抑える目標と整合する独自の目標を持ち、その進捗状況を報告および更新していくことを義務付けました。各国の削減義務には法的拘束力はないようですが、先進国だけでなく全ての国と地域を対象にした点も重要といわれます。この合意は「グラスゴー気候合意」と呼ばれる一方「1.5度を目標とする」内容について一般には「パリ協定」と呼ばれています。

COP29 は第 29 回「気候変動枠組み条約締約国会議」を指しますが、2024 年（昨年）11 月 11 日～24 日にアゼルバイジャンの首都バクーで開催、期日は当初の計画より 2 日間延長して行われました。

2023 年は平均気温が過去最高を記録したとされていますが、2024 年はこれをさらに上回り平均気温が産業革命前に比べて1.5度以上を記録することになるのではないかとの見方もあるようです。日本では24年の夏は実に暑かったと言うのが誰もが体験した事実です。これは地球温暖化による気温上昇だけではなく太平洋の表面水温が上昇する「エルニーニョ現象」が加わったためで、24年の平均気温が産業革命前に比べて1.5度以上となったとしても地球温暖化は「1.5度」を超えていないと主張する人もいます。いずれにしても「1.5度以内目標」が“風前のともしび”のように見えてきているのは確かです。

「92年に採択された気候変動枠組み条約は、途上国が気候変動に対処する資金を先進国が供与すると定めています。」そのため「COP29は『資金COP』と呼ばれ、25年以降の新たな資金目標の決定が最大の任務」（「」内12月15日付け赤旗日曜版・早川光俊氏・以下同じ）として開催されました。「パリ協定は『25年まで年1000億ドルの供与を続け、25年以降については年1000億ドルを下限とする新目標を定める』とし、COP29がその期限」だったのです。09年のCOP15で「先進国は途上国に『20年までに年1000億ドル』の資金供与を約束しましたが、達成したのは22年」でした。金額が大きいこともあって一般論としては「供与」が容易でないことは理解できるとしても、先進国の繁栄は歴史的には一面途上国の犠牲の上に成り立っていることを考えると、先進国は誠実で無ければなりません。地球温暖化への対応は途上国にとっても課題です。しかし途上国では経済的発展を目指しながら温暖化対応エネルギーへの変換を目指さなければなりません。この負担に先進国は応えなければならないのです。

「COP29では先進国から途上国への資金供与を『35年までに年3000億ドル（46兆円）以上』とし、『あらゆる財源から途上国への資金動員を35年までに少なくとも年1.3兆ドル（200兆円）をめざす』ことで合意」しました。しかし、決定された年3000億ドルに対しては温暖化の悪影響への対処には全く足りないとして不満が残ったとされます。

締約国は2月までに35年の削減目標を提出することになっているようですが、「COP29で出したのは『35年に90年比で81%削減』（19年比66%減）を示した英国、ブラジル（05年比59～67%削減）、アラブ首長国連邦（UAE）などだけで」この時点では前進的反応は少なかったとされます。

COP29 第7次エネルギー基本計画

エネルギー政策の中長期的な指針となる「エネルギー基本計画」の改定に向けて国の経済産業省などが組織する有識者会議で昨年6月から議論が始まり、12月17日に「エネルギー基本計画（原案）」（第7次エネルギー基本計画原案）が公表されました。温暖化が実感としても深刻となってきた中、国民の関心は高く、多くのマスコミが詳しく報道しているようです。A4版60ページと分量の大きいものですがここでは12月19日付け東京新聞社説からその内容を記していきたいと思えます。

まず第一に、第7次エネルギー基本計画の大きな特徴として「計画の原案から福島第一原発事故以来の『原発依存度を可能な限り低減する』との表現が消えた」ことを挙げています。「福島の事故後、14年の第4次計画では『福島の復興・再生をエネルギー政策を再構築するための出発点』と位置付け『原発依存度は可能な限り低減させる』と明記し」「21年の第6次に至るまで、この方針は守られてきた。ところが前政権（注・岸田文雄政権）は、脱炭素などを名目に原発の『最大限活用』に大転換。新增設の推進にまで踏み」「そして今回、人工知能（AI）の急拡大に伴って電力

需要の急増が見込まれるとする経済界の提言なども入れ、『脱原発依存』の表現を削除し、脱炭素電源として『最大限活用する』と明記。40年度の発電量に占める割合を2割程度（23年度実績は8.5%）に保つとしている。」まさに脱炭素を名目にして原発の復権を図っているということです。

この指摘のあと東京新聞社説は問題点を4点指摘します。①安全対策の必要性から新型原発の建設コストの上昇。経産省はこの費用確保のため電気料金値上げを検討②能登半島地震で深刻になった避難計画③使用済み核廃棄物処分の見通しが不明④原発1基新設のために20年かかるが、パリ協定が求める「50年にCO₂実質ゼロ」に間に合わない可能性が高い。

そして京新聞社説は「こうした問題を残したまま、原発依存を続けていくのは無責任」と痛烈に批判しています。そのあと「40年度の電源構成比の目標を4~5割程度に引き上げるとする再生可能エネルギーは、さらに『のびしろ』が見込める。洋上風力や地熱など日本の開発余地は大きい。AIを含め、省エネ化もさらに進展させられるはずだ。『脱原発依存』こそ原点だ。その方向性を変えるべきではない。」と結びます。まさに同感というほかありません。（つづく）

2024年12月*** 神奈川支部の忘年会に参加してきました*** 川田綾子

12月末に丹沢麓の山本家にて神奈川支部の実践報告会をかねた忘年会に参加してきました。2024年1月の神奈川支部実践報告会から約1年ぶり。ペレットストーブを囲み、温かく和やかな夕べでした。神奈川支部の皆さんの魅力的なお話の一部をご紹介します。（美味しい日本酒を飲み過ぎて記憶があいまいですので、勘違いもあるかもしれません、ご容赦ください。）

酒井さん NPO 法人設計協同フォーラムの今後の新たな体制や未来像について、力強い展望を伺うことができました。

永井さん お住まいの川崎市宮前区でのまちづくり。住民として建築職能家としての二つの視点でのお話でした。

島貫さん 21階建て客船での地中海の旅を2000枚以上の写真で！一緒に旅をした気分になりました。

川田より 真鶴・岩の旧土屋邸（旧民俗資料館）の閉鎖と今後の利活用に向けて、町と協定締結したエンジョイワークスが関わり検討会がスタートした経緯など報告しました。



ベトナムの所得水準



”初めてのベトナム生活で日本人が驚く10のこと”
その一 VIETNAVI より

アジアニュースNo.24
(ベトナム中心) TN

この面白そうな記事は、2020年ごろと思われませんが、今回は6件掲載します。筆者は、ベトナムに長期出張はしましたが、住んだことはありませんが、なるほどなという感想を持ちました。そのあとに所得水準を掲載しますので、参考にしてください。

1. 英語が話

せる子供が多い 近年ベトナムはホーチミンを中心に英語の大ブーム。多くの家庭は多少家計を無理してでも、子供に英語塾に通わせています。それも「将来いい大学に入って、いい仕事に就き、いい生活をおくってもらいたい」という本心からくるもの。都心の町中では、子供に英語で声をかけられることもしばしば。住宅街でインタビューをされることだってあります。日本では英語塾が過熱した時期もありましたが、普段の生活で外国人と接する機会ってそれほどありませんよね。ホーチミンやハノイは外国人が多いので、子供たちはめきめきと英語力が成長しているようです。



2. 電車がめっちゃ遅い

まず最初に、ベトナムは市内を電車が走っていません。(注：今日現在、ハノイ市とホーチミン市では、地下鉄が完成し、試乗会を経て運航開始されています) 電車は中距離もしくは長距離列車のみ。車両も線路も非常に老朽化が進んでいて、電車ではなくディーゼル機関車となるため、速度は非常に遅いです。時速約70km程度しかできませんので、高速道路を利用したらバスや車の方が早くなります。また、長距離列車は指定席ですが、こまかく区分けされていて、ハードシート、ソフトシート、扇風機、もしくはエアコン、座席タイプもしくはベッドタイプなどを選ばな

ければなりません。あまりに乗車時間が長いので、列車で移動しようとする日本人はいなく、中距離はバス、遠方は空路を利用するのが常です。

3. 停電が日常茶飯事(略) (注：今日現在、停電はたまにしかみられません。)

4. 時間帯によってネットのつながり具合が変わる(略) (注：今日現在、ネットはつながります。)

5. 在留邦人は1万5000人とされているが、実際は倍以上いる 統計では在留邦人は1万4000人程度とされていて、その内ホーチミンが7000人強となります。ただし、これは在留届を出している人の数なので、実際はこの2倍程度はいると言われてます。ホーチミンのレタントン通りやベントイン市場、ハノインのキムマーやホアンキエム湖、タイ湖、ハイパーチュン区を歩くと、たくさんの日本人の姿を見ることができます。ベトナムも年々在住日本人の姿が多くなってきていることにいささが驚きます。10年以上前から住んでいるベテラン日本人の方からすると、「マレーシアやタイがあるのにあえてベトナムを選ぶとは、ちょっと信じられない」とのこと。



6. バイク=ホンダだった バイク天国のベトナムで、シェア60%を誇るホンダ。現在ではホンダ=バイクとみなされていて、その象徴として認識されています。道端にあるバイク修理工には、バイクを示す「HONDA」の看板があり、それはバイクの修理屋を意味します。最近の若者の間ではあまりなくなりましたが、現在でも年配者の中には、「そろそろホンダ（バイク）を買い替えましょう」とヤマハのバイクを指さして言う人もいます（笑）



経済 ベトナム、間もなく上位中所得国に仲間入りの見通し
2024/07/11 17:05 JST 配信

- 23年のベトナムの国内総生産 4300億 USD
- 1人当たりGDP、旧基準では上位中所得国
- 新基準で24年に上位中所得国入りの見通し

世界銀行(WB)のデータによると、2023年におけるベトナムの国内総生産(GDP)は4300億USD(約69兆円)で、国民1人当たりのGDPは4347USD(約70万円)だったと推定される。

ベトナムは、旧基準に沿えば上位中所得国に入るはずだったが、2023年7月1日から引き上げられた新たな分類基準に照らし合わせると、引き続き下位中所得国に分類されている。

下位中所得国と上位中所得国に関する新たな分類基準は以下の通り。

◇下位中所得国: 国民1人当たりGDPが1136~4465USD(約18万3000~71万8900円)

◇上位中所得国: 国民1人当たりGDPが4466~1万3845USD(約71万9000~223万円)

上位中所得国の分類に求められる国民1人当たりGDPは、2024年7月1日からさらに4516~1万4005USD(約73万~225万円)に引き上げられている。

2024年にGDP成長率+6.5%を達成し、人口の増加幅がさほど大きくなければ、ベトナムは2024年に上位中所得国に仲間入りするものと見込まれる。

社会 公務員基礎賃金が+30%増、序列1位党書記長で月額給与19万円に 2024/07/08 06:48 JST 配信

- 7月公務員基礎賃金が+30%増額・公務員の基礎賃金は月額234万VNDに・国の首脳4人の月額給与

政府は6月30日、公務員の基礎賃金を規定する政令第73号/2024/ND-CPを公布した。新政令は政令第24号/2023/ND-CPに置き換わるもので、2024年7月1日に施行された。

新政令の施行により、公務員の基礎賃金は、2023年7月1日から適用されていた従来の月額180万VND(約1万1200円)から+30.0%増の234万VND(約1万4500円)に引き上げられた。

この基礎賃金は、公的機関の幹部や公務員、公的組織の職員、ベトナム人民公安とベトナム人民軍の士官・兵士・職員・兵役者、機密・重要業務の執行者などに適用される。

公務員の基礎賃金は、公務員の給与や手当の計算に用いられる基準となる給与のこと。公務員の給与は、基礎賃金に係数を掛けて計算される。係数は公務員のレベルによって異なる。

今回の基礎賃金の引き上げにより、「四柱」と呼ばれる国の首脳4人の月額給与は以下の通りとなった。

◇共産党書記長(係数:13.0):3042万VND(約19万円) ◇国家主席:同上 ◇首相(係数:12.5):2925万VND(約18万2000円) ◇国会議長:同上

経済 地域別の最低賃金、7月1日から+6.0%引き上げ 2年ぶり 2024/07/02 06:42 JST 配信

- 最低賃金が2年ぶりに引き上げ、1時間の最低賃金も+6.0%増、第1種地域の最低賃金は月額3.1万円

政府はこのほど、一般労働者向け地域別最低賃金引き上げに関する政令を公布した。地域別の月額最低賃金は以下の通り(※は増加率)。◇第1種:496万VND(約3万1000円)※+6.0%増 ◇第2種:441万VND(約2万7700円)※+6.0%増 ◇第3種:386万VND(約2万4300円)※+6.0%増 ◇第4種:345万VND(約2万1700円)※+6.2%増 1時間あたりの最低賃金額も+6.0%引き上げられた。これにより、第1種の最低賃金が2万3800VND(約150円)、第2種が2万1200VND(約133円)、第3種が1万8600VND(約117円)、第4種が1万6600VND(約104円)となった。なお、2021年と2023年は最低賃金の引き上げが行われず、今回の最低賃金引き上げは、2022年7月以来2年ぶりとなった。



住む人・使う人の立場で、
住まいづくり、まちづくりを
すすめています。



共同建替「アリシア鳩ヶ谷」

〒124-0001
東京都葛飾区小菅4-22-15
TEL : 03-3601-6841
FAX : 03-3601-6944
E-mail : zo-3@jade.dti.ne.jp
<http://www.zo-3.info>

株式会社 **象地域設計**

住み続けられる



株式会社
まちづくり研究所

〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿 1-13-6 第二伊藤ビル 503
TEL : 03-5423-3470 FAX : 03-5423-3479

新建築家技術者集団 憲章

建築とまちづくりにたずさわる私たちは、国土を荒廃から守り、かつ環境破壊を許さず、人びとのねがう豊かな生活環境と高い文化を創造する目的をもつ。

私たちはこのことを認識し、行動するための目標をかかげ、ここに憲章を定める。

- 1 建築とまちづくりを、社会とのつながりの中でとらえよう。
- 2 地域に根ざした建築とまちづくりを、住む人使う人と協同してすすめよう。
- 3 建築とまちづくりの優れた伝統を継承し、理論や技術の発展と創造につとめよう。
- 4 人びとに支持される建築とまちづくりの活動をすすめ、専門性を確立しよう。
- 5 建築とまちづくりに関連する国内外の広い分野の人びととの交流をはかり、連帯を強めよう。
- 6 建築とまちづくり、生活と文化、自由のために平和を守ろう。

WHY?

え？

広告主募集中です!

新協建設工業株式会社

平和であればこそ建築はよろこび

本社 台東区台東2-25-10
東東京支店 江戸川区篠崎町3-1-3
台東支店 (台東) 台東区台東2-25-10
西東京支店 (多摩) 日野市神明4-22-13
大阪支店 堺市寺地町東4-2-11
石川支店 金沢市法光寺町207-4
広島支店 広島市安佐南区相田6-1-7

TEL03-3836-2011 FAX03-3837-8450
TEL03-3678-7471 FAX03-3678-7472
TEL03-3836-2017 FAX03-3835-7380
TEL042-584-7508 FAX042-584-7581
TEL072-229-2873 FAX072-229-2874
TEL076-257-2535 FAX076-257-2570
TEL082-872-1727 FAX082-872-1728